



## 平成 23 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 9 月 30 日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進本部長 (氏名) 井上 伸雄 TEL 03-3486-3331  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 14 日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 11 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 12 月 1 日 ~ 平成 23 年 8 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 11 月期第 3 四半期	363,198	3.5	15,837	11.4	16,599	9.6	7,204	18.2
22 年 11 月期第 3 四半期	350,765	3.4	17,868	30.6	18,355	30.0	8,807	17.9

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	47.64	-
22 年 11 月期第 3 四半期	58.06	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	275,590	183,550	57.4	1,057.04
22 年 11 月期	287,957	180,901	54.2	1,029.26

(参考)自己資本 23 年 11 月期第 3 四半期 158,232 百万円 22 年 11 月期 156,134 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 11 月期	-	8.00	-	10.00	18.00
23 年 11 月期	-	9.00	-		
23 年 11 月期(予想)				9.00	18.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想 (平成 22 年 12 月 1 日 ~ 平成 23 年 11 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	480,000	1.9	19,200	13.2	19,700	13.5	8,700	18.0	57.67

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 4 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年11月期3Q	153,000,000株	22年11月期	155,464,515株
23年11月期3Q	3,306,524株	22年11月期	3,768,621株
23年11月期3Q	151,249,764株	22年11月期3Q	151,697,268株

( 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

( 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 23 年 8 月までの自己株式の取得および消却を考慮して算出しております。

## 添付資料の目次

1．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2．その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3．四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4．補足情報 .....	10
(1) 売上高のまとめ .....	10
(2) 営業利益のまとめ .....	11
(3) 11.11期第3四半期累計(10.12月～11.8月)の営業利益増減状況.....	12
(4) 主要な販売費・一般管理費実績 .....	13
(5) 営業外・特別損益の実績と計画、および10.11期第3四半期累計対比での主な増減内容.....	13
(6) 貸借対照表の主な増減内容 .....	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が向上するなど回復基調で始まりましたが、3月以降は東日本大震災による甚大な被害の影響が続きました。商品供給網の復旧に合わせて個人消費は持ち直しの動きを見せましたが、欧米経済の先行きへの懸念などから依然として厳しい環境で推移いたしました。

食品業界においては、震災による自粛ムードや省電力対応から家庭での食事の機会が増加する状況のもと、原資材コストが上昇する地合いとなりました。

食品物流業界においては、お取引先様が物流体制の見直しを進める中、全体の荷動きの低調感が継続する環境となりました。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の状況

平成22年度からの3年間を対象とする中期経営計画における、「人材育成の充実と、グループ品質の向上」を土台とした「事業基盤の強化」と「新たな展開への挑戦」の3つの基本方針、またこれらを強力に推進するドリルの役割として位置づけた「フードサービス戦略の本格的展開」にグループが連携して取り組むことで、企業価値の一層の向上に努めました。

## ・売上高

サラダ調味料やサラダ・惣菜事業の牽引などにより、震災の影響を乗り越えて3,631億98百万円と前年同期比124億33百万円（3.5%）の増収となりました。

## ・利益面

震災や原資材コストの上昇による逆風の中、サラダ・惣菜事業が伸張したものの営業利益は前年同期に比べ20億31百万円（11.4%）減の158億37百万円、経常利益が前年同期に比べ17億56百万円（9.6%）減の165億99百万円、四半期純利益は震災に伴う特別損失の発生（17億4百万円）を含め前年同期に比べ16億3百万円（18.2%）減の72億4百万円となりました。

## セグメント別の状況

## [売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	128,509	130,245	1,736	1.4%
健康機能	12,882	13,526	644	5.0%
タマゴ	61,331	64,139	2,808	4.6%
サラダ・惣菜	58,282	63,440	5,158	8.9%
共通	5,296	4,280	1,016	19.2%
物流システム	84,461	87,566	3,105	3.7%
合計	350,765	363,198	12,433	3.5%

## [営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減(金額)	増減(比率)
調味料・加工食品	12,920	11,208	1,712	13.3%
健康機能	1,047	1,134	87	8.3%
タマゴ	3,322	2,606	716	21.6%
サラダ・惣菜	1,119	1,620	501	44.8%
共通	651	533	118	18.1%
物流システム	2,438	2,403	35	1.4%
調整額	3,632	3,668	36	-
合計	17,868	15,837	2,031	11.4%

(注) 第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しており、前第3四半期連結累計期間の金額は同基準に準拠して算出しています。

## 調味料・加工食品

- ・国内ではサラダ調味料が順調に拡大、海外での展開も増収に貢献
- ・サラダ調味料は順調ながら、原資材コストの上昇や震災影響により減益

## 健康機能

- ・ヒアルロン酸などの医薬用素材や育児食、やさしい献立などが順調に推移
- ・売上高の増加と高付加価値商品の拡大により増益

## タマゴ

- ・上期の鶏卵相場高騰の影響や、コンビニエンスストア向け素材品の好調により増収
- ・鶏卵相場の高騰に対する価格改定時期のずれによる減益も、価格改定や米国展開の収益改善は進展

## サラダ・惣菜

- ・スーパーやコンビニエンスストア向けの惣菜やパッケージサラダが順調に拡大
- ・業態転換による体質強化や、売上高の増加により増益

## 共通

- ・外部向け原料販売の縮小などにより売上高と営業利益が減少

## 物流システム

- ・新規の専用物流取引の獲得や、既存顧客との取組み範囲の拡大により増収
- ・既存取引の減少により採算悪化するも、新規取引やコスト削減で前年並みを確保

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、2,755億90百万円と前連結会計年度末に比べ123億67百万円減少  
主に「現金及び預金」の減少、「受取手形及び売掛金」、「商品及び製品」、「原材料及び貯蔵品」の増加による
- ・負債は、920億39百万円と前連結会計年度末に比べ150億16百万円減少  
主に「支払手形及び買掛金」の増加、「短期借入金」、「未払法人税等」の減少、「賞与引当金」、「その他引当金」の増加、「その他」(未払費用)の減少による
- ・純資産は、1,835億50百万円と前連結会計年度末に比べ26億49百万円増加  
主に「利益剰余金」の増加、「自己株式」の減少、「少数株主持分」の増加による

## キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、171億27百万円と前連結会計年度末に比べ159億94百万円減少

## 各キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金、売上債権、たな卸資産、仕入債務の増加、法人税等の支払などにより97億63百万円の収入

(前年同期は138億89百万円の収入)

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のための支出などにより81億60百万円の支出

(前年同期は118億92百万円の支出)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少、配当金の支払、自己株式の取得などにより174億71百万円の支出(前年同期は44億82百万円の支出)

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

中期経営計画の2年目にあたり、「事業基盤の強化」においては、サラダ調味料の安定的な拡大と競争力の強化、ヒアルロン酸では高機能商品の市場浸透と既存商品のコスト低減、タマゴ商品における提案力の強化とコスト競争力の向上、サラダやパッケージサラダの付加価値型商品の提案の拡大などを一層推し進めてまいります。また「新たな展開への挑戦」では、国内においては、新・ソースワールドの打ち出しなどによるグループ全体での提案により市場の深耕を図るほか、海外では、中国・タイのフードサービス市場の攻略やマレーシア・ベトナムでの展開を加速し、東アジアでの拡大を推進してまいります。

また、引き続き震災の経験を踏まえた企業体質の強化に取り組むとともに、震災による市場環境の変化やニーズに対応した食の提案を推し進めるほか、被災地域を応援する取組みへ力を注いでまいります。

本年6月30日に公表しました平成23年11月期の業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

重要な該当事項はありません。

特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ6百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は236百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は388百万円であります。

「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,174	29,718
受取手形及び売掛金	67,296	64,701
有価証券	5,000	5,000
商品及び製品	12,021	10,372
仕掛品	748	733
原材料及び貯蔵品	5,322	4,319
その他	6,940	5,656
貸倒引当金	635	359
<b>流動資産合計</b>	<b>108,867</b>	<b>120,142</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	126,437	126,716
減価償却累計額	78,393	78,482
建物及び構築物（純額）	48,044	48,233
機械装置及び運搬具	125,639	126,661
減価償却累計額	102,634	103,827
機械装置及び運搬具（純額）	23,005	22,834
土地	40,770	40,752
建設仮勘定	2,092	2,507
その他	11,460	11,181
減価償却累計額	8,022	7,815
その他（純額）	3,437	3,366
<b>有形固定資産合計</b>	<b>117,349</b>	<b>117,693</b>
無形固定資産	2,171	2,315
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,948	19,495
前払年金費用	17,048	17,753
その他	10,975	11,343
貸倒引当金	770	785
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>47,201</b>	<b>47,806</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>166,722</b>	<b>167,815</b>
<b>資産合計</b>	<b>275,590</b>	<b>287,957</b>

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,200	39,078
短期借入金	8,478	19,953
未払法人税等	2,812	5,737
賞与引当金	4,431	974
その他引当金	2,953	1,154
資産除去債務	107	-
その他	17,705	24,848
流動負債合計	76,689	91,747
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	1,235	1,548
引当金	2,522	2,488
資産除去債務	294	-
その他	10,797	10,769
固定負債合計	15,350	15,307
負債合計	92,039	107,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,418	29,432
利益剰余金	111,378	109,600
自己株式	3,394	3,847
株主資本合計	161,507	159,290
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,195	1,111
繰延ヘッジ損益	12	20
為替換算調整勘定	4,457	4,247
評価・換算差額等合計	3,275	3,156
少数株主持分	25,318	24,767
純資産合計	183,550	180,901
負債純資産合計	275,590	287,957

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
売上高	350,765	363,198
売上原価	263,182	275,507
売上総利益	87,582	87,691
販売費及び一般管理費	69,714	71,854
営業利益	17,868	15,837
営業外収益		
受取利息	143	142
受取配当金	264	300
持分法による投資利益	185	160
その他	600	406
営業外収益合計	1,193	1,010
営業外費用		
支払利息	266	119
為替差損	145	-
その他	293	128
営業外費用合計	705	248
経常利益	18,355	16,599
特別利益		
前期損益修正益	12	-
固定資産売却益	30	43
貸倒引当金戻入額	66	-
補助金収入	40	-
抱合せ株式消滅差益	-	74
その他	34	59
特別利益合計	183	177
特別損失		
前期損益修正損	5	-
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	793	858
投資有価証券評価損	313	-
災害による損失	-	1,704
その他	12	511
特別損失合計	1,128	3,074
税金等調整前四半期純利益	17,410	13,701
法人税等	7,442	5,620
少数株主損益調整前四半期純利益	-	8,081
少数株主利益	1,160	876
四半期純利益	8,807	7,204

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,410	13,701
減価償却費	9,553	9,958
持分法による投資損益（は益）	185	160
投資有価証券評価損益（は益）	313	58
引当金の増減額（は減少）	5,780	5,560
前払年金費用の増減額（は増加）	469	712
受取利息及び受取配当金	407	443
支払利息	266	119
固定資産除売却損益（は益）	766	816
売上債権の増減額（は増加）	3,359	2,656
たな卸資産の増減額（は増加）	2,247	2,711
仕入債務の増減額（は減少）	2,501	1,350
その他	7,318	6,497
小計	23,543	19,810
利息及び配当金の受取額	479	502
利息の支払額	298	181
法人税等の支払額	9,835	10,367
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,889	9,763
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	8,420	9,811
無形固定資産の取得による支出	332	387
投資有価証券の取得による支出	1,016	185
貸付けによる支出	580	57
貸付金の回収による収入	177	397
その他	1,720	1,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,892	8,160
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	600	858
長期借入金の返済による支出	909	10,907
少数株主からの払込みによる収入	182	-
配当金の支払額	2,655	2,883
少数株主への配当金の支払額	269	286
自己株式の取得による支出	3	2,104
その他	227	431
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,482	17,471
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	132
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,482	16,001
現金及び現金同等物の期首残高	27,831	33,121
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	205	-
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,553	17,127

（4）継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

（5）セグメント情報

1．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として商品・役務別に「調味料・加工食品」、「健康機能」、「タマゴ」、「サラダ・惣菜」、「共通」および「物流システム」としております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

調味料・加工食品：マヨネーズ、ドレッシング、食酢、ジャム、パスタソース、スイートコーン等

健康機能：育児食、医療食、介護食、ヒアルロン酸等

タマゴ：液卵、凍結卵、乾燥卵、タマゴスブレッド、厚焼卵、錦糸卵等

サラダ・惣菜：サラダ、惣菜、弁当、おにぎり、パッケージサラダ等

共通：食品の販売等

物流システム：食品の運送・保管等

2．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年8月31日）

（単位：百万円）

	調味料・加工食品	健康機能	タマゴ	サラダ・惣菜	共通	物流システム	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への売上高	130,245	13,526	64,139	63,440	4,280	87,566	363,198	-	363,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,122	373	3,412	370	8,343	17,100	32,722	(32,722)	-
計	133,367	13,899	67,552	63,811	12,623	104,667	395,921	(32,722)	363,198
セグメント利益	11,208	1,134	2,606	1,620	533	2,403	19,506	(3,668)	15,837

(注)1．セグメント利益の調整額 3,668百万円には、主として、親会社の管理部門および連結子会社であるケイ・システム㈱と㈱キューピーあいに係る費用等である配賦不能営業費用3,630百万円が含まれております。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年6月30日の取締役会決議による自己株式の取得（株式数2,000,000株、価額の総額2,102百万円）ならびに自己株式の消却（株式数2,464,515株、価額の総額2,558百万円）を行ったこと等により、自己株式が前連結会計年度末に比べ453百万円減少しております。

4. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しております。  
 2. 本資料中の「上期」の数値は、第2四半期累計の数値を掲載しております。  
 3. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

(1) 売上高のまとめ

(億円)

売上高	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	406	474	880	440	1,320	437	1,757
	健康機能	39	45	84	43	127	46	173
	タマゴ	199	198	397	192	589	206	795
	サラダ・惣菜	199	208	407	209	616	191	807
	共通	18	17	35	18	53	18	71
	物流システム	229	228	457	230	687	233	920
	合計	1,090	1,170	2,260	1,132	3,392	1,130	4,522
10.11期	調味料・加工食品	397	457	854	431	1,285	432	1,717
	健康機能	39	44	83	46	129	49	178
	タマゴ	195	209	404	209	613	218	831
	サラダ・惣菜	184	194	378	205	583	198	781
	共通	20	17	37	16	53	14	67
	物流システム	272	282	554	291	845	292	1,137
	合計	1,107	1,202	2,309	1,199	3,508	1,202	4,710
11.11期	調味料・加工食品	412	445	857	445	1,302		1,737
	健康機能	42	50	92	43	135		187
	タマゴ	210	221	431	210	641		867
	サラダ・惣菜	194	208	402	232	634		825
	共通	14	15	29	14	43		53
	物流システム	284	292	576	300	876		1,131
	合計	1,157	1,230	2,387	1,245	3,632		4,800
前年差	調味料・加工食品	16	△12	3	14	17		20
	健康機能	4	6	9	△3	6		9
	タマゴ	15	12	27	1	28		36
	サラダ・惣菜	10	14	24	27	52		44
	共通	△6	△2	△7	△2	△10		△14
	物流システム	11	10	22	9	31		△6
	合計	50	28	78	46	124		90

※11.11期通期は、2011年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

## (2) 営業利益のまとめ

(億円)

営業利益	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
09.11期	調味料・加工食品	18	38	56	46	102	36	138
	健康機能	1	3	4	2	6	0	6
	タマゴ	12	9	21	11	32	4	36
	サラダ・惣菜	0	6	6	6	12	1	13
	共通	1	1	2	2	4	0	4
	物流システム	3	6	9	5	14	8	22
	調整額(全社費用・消去)	△10	△12	△22	△10	△32	△11	△43
	合計	26	50	76	61	137	40	177
10.11期	調味料・加工食品	31	57	88	41	129	37	166
	健康機能	3	3	6	4	10	4	14
	タマゴ	11	11	22	11	33	6	39
	サラダ・惣菜	2	4	6	5	11	5	16
	共通	4	1	5	2	7	△2	5
	物流システム	6	9	15	9	24	4	28
	調整額(全社費用・消去)	△11	△13	△24	△12	△36	△10	△46
	合計	44	74	118	61	179	42	221
11.11期	調味料・加工食品	34	38	72	40	112		137
	健康機能	2	7	9	2	11		17
	タマゴ	7	6	13	13	26		34
	サラダ・惣菜	2	5	7	9	16		20
	共通	3	1	4	1	5		6
	物流システム	4	10	14	10	24		24
	調整額(全社費用・消去)	△11	△13	△24	△13	△37		△46
	合計	41	53	94	64	158		192
前年差	調味料・加工食品	3	△19	△17	△1	△17		△29
	健康機能	△0	4	3	△2	1		3
	タマゴ	△4	△5	△9	2	△7		△5
	サラダ・惣菜	0	1	1	4	5		4
	共通	△0	0	△1	△1	△1		1
	物流システム	△1	1	△0	1	△0		△4
	調整額(全社費用・消去)	△0	0	△0	△1	△0		0
	合計	△3	△21	△24	3	△20		△29

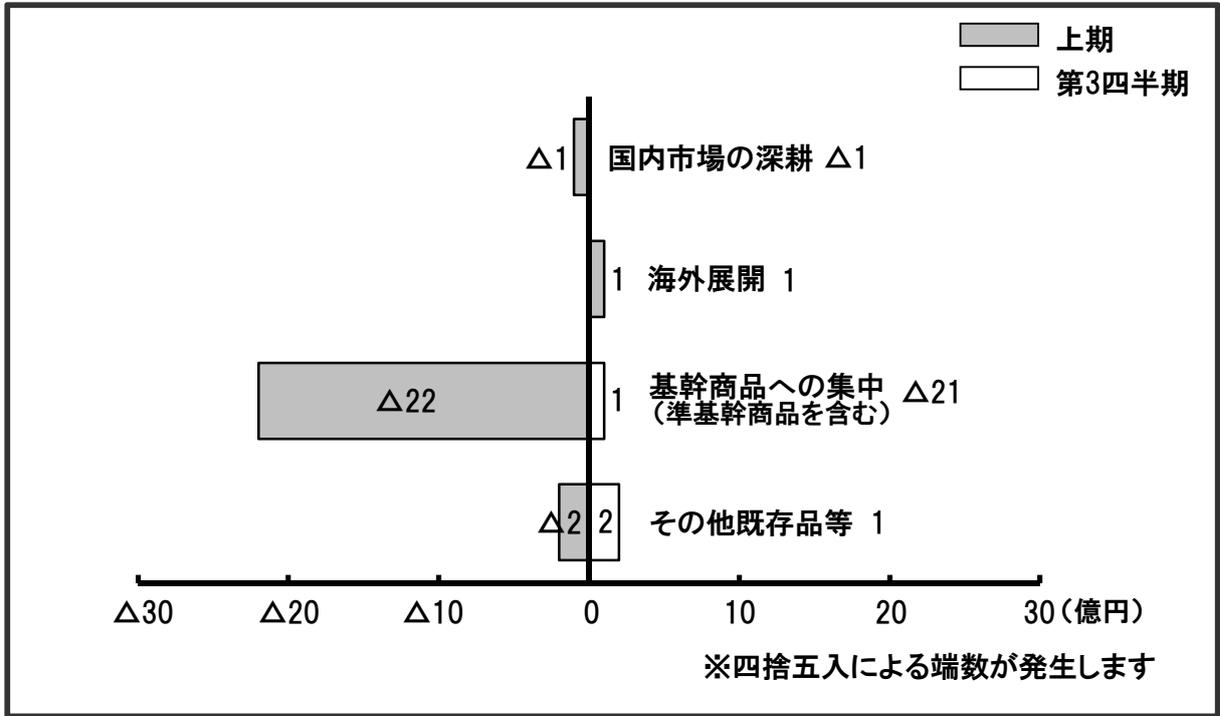
※11.11期通期は、2011年6月30日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

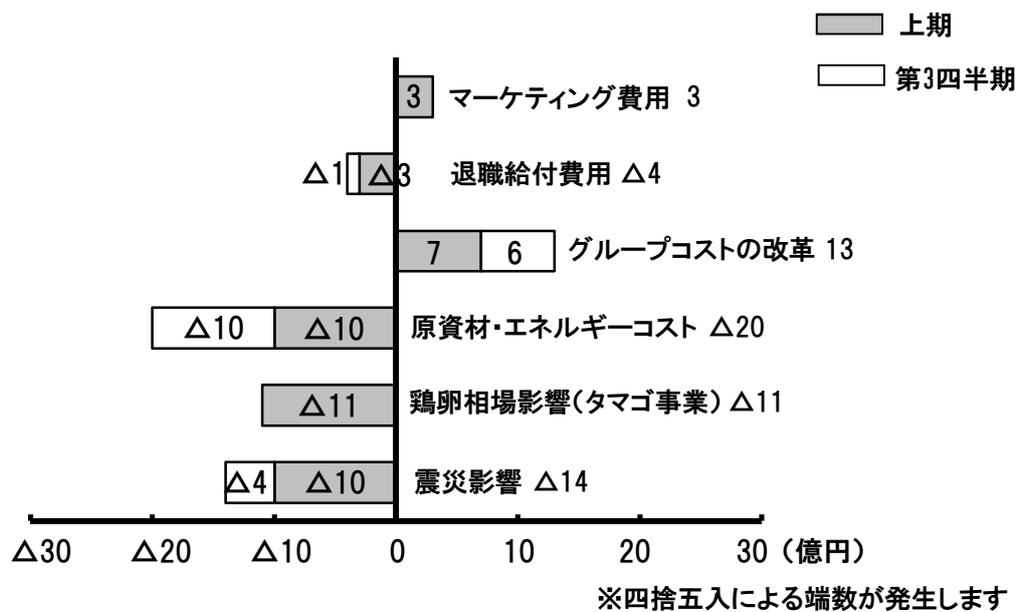
※前年差は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

(3) 11.11期第3四半期累計(10.12月～11.8月)の営業利益増減状況  
(億円)

	10.11期	11.11期	前年差
上期	118	94	△ 24
第3四半期累計	179	158	△ 20



なお、上記の営業利益に含まれる主なコストなどの影響は以下のとおりです



## (4) 主要な販売費・一般管理費実績

(億円)

	09.11期 第3四半期累計	10.11期 第3四半期累計 (A)	11.11期 第3四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)
販売促進費	130	133	133	0
広告宣伝費	58	59	56	△3
物流費	189	192	202	10
労務費	163	173	180	7
研究開発費	22	21	22	1

## (5) 営業外・特別損益の実績と計画、および10.11期第3四半期累計対比での主な増減内容

(億円)

	10.11期 第3四半期累計	11.11期 第3四半期累計	増減内容 (第3四半期累計対比)	10.11期	11.11期計画
営業外損益	5	8	支払利息の減少 +1 為替差損の減少 +1	7	5
特別損益	△9	△29	災害による損失の増加 △17 資産除去債務計上損の増加 △2	△14	△35

## (6) 貸借対照表の主な増減内容

(億円)

	10.11期	11.11期 第3四半期	増減	増減内容
(資産の部)				
流動資産	1,201	1,089	△112	現預金の減少 △175 営業債権の増加 26 たな卸資産の増加 27
固定資産				
有形・無形固定資産	1,200	1,195	△5	取得による増加 96 減価償却による減少 △100
投資その他の投資	478	472	△6	投資有価証券の増加 5 前払年金費用の減少 △7 差入保証金の減少 △2
(負債の部)				
	1,071	920	△151	借入金の減少 △118 未払法人税等の減少 △29 引当金の増加 53 未払費用の減少 △59
(純資産の部)				
	1,809	1,836	27	利益剰余金の増加 18 自己株式の減少 5 少数株主持分の増加 6